

mruby/c 開発計画(組み込みクラス、他機能)

クラス、機能	説明	mruby/c 各公開版で追加するクラス・機能					Cruby
		$\beta-1$ 2016.3月公開	$\beta-2$ 2016.7月公開	$\beta-3$ 2016.9月公開	$\beta-4$ 2016.10月公開	ver1.0 2016.12月下旬公開予定	
Array	配列	●	●	●	●	●	●
FalseClass	false のクラス	●	●	●	●	●	●
NilClass	Nilのクラス	●	●	●	●	●	●
Float	浮動小数点数	●	●	●	●	●	●
Fixnum	一定以下の整数クラス	●	●	●	●	●	●
TrueClass	Trueのクラス	●	●	●	●	●	●
Hash	ハッシュ		●	●	●	●	●
Range	始点、終点で定義する範囲オブジェクトのクラス		●	●	●	●	●
Symbol	文字の意味を明確するクラス(Hashのキーやアクセサなど)		●	●	●	●	●
Class	実行時の型情報を保持するクラス		●	●	●	●	●
Block	複数個の文などのコードをまとめるブロック機能		●	●	●	●	●
GC	メモリ最適化機能(/cはタスク単位で回収)		●	●	●	●	●
GPIO	汎用入出力		●	●	●	●	●
I2C	周辺デバイス とのシリアル通信機能		●	●	●	●	●
String	文字列クラス			●	●	●	●
Time	時刻を表すクラス				●	●	●
Exception	例外処理のクラス				●	●	●
UART	シリアル信号をパラレル信号に変換したり、その逆方向の変換機能				●	●	●
Proc	ブロックとして記述された手続きを運ぶためのクラス					●	●
Regexp	正規表現のクラス					●	●
Math	指数関数、対数関数、平方根、および三角関数といった基本的な数値処理を実行					●	●
SPI	シリアル周辺装置インターフェース					●	●
Binding	具象データの形式およびプロトコル指定						●
Dir	ディレクトリ(階層構造)の操作						●
Encoding	文字エンコーディングをサポート						●
Fiber	ノンプリエンティブな軽量スレッドを提供(GPU開放の手法)						●
IO	基本的な入出力機能						●
File	ファイルを管理						●
Numeric	数値を表す抽象クラス						●
Complex	複素数表示						●
Integer	整数をオブジェクトとして扱う						●
Bignum	巨大な整数を扱うための仕組み						●
Rational	有理数のクラス						●
Struct	複数の変数を一まとめにして扱う						●
Thread	CPU利用の単位を管理するクラス						●

公開済